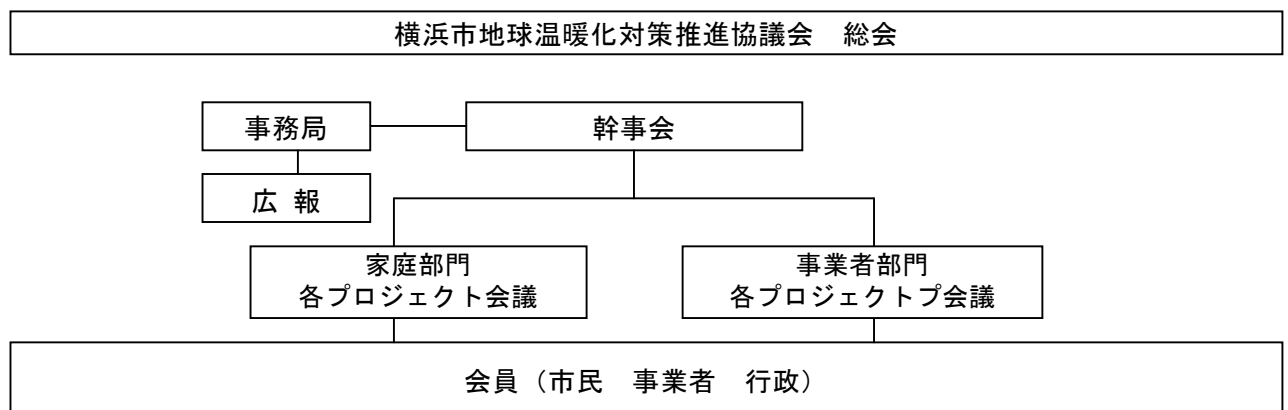


平成26年度事業計画

1 平成26年度の組織構成・活動目的

横浜市は基本目標として、市民・事業者・行政相互の連携・協働を促進し、持続可能な低炭素都市と環境未来都市の実現に向けて、「エネルギーの安定供給・自立化と節電・省エネの推進」、「脱温暖化行動の推進」、「環境未来都市の推進と温暖化対策に有効な制度の運用や仕組みの検討」を施策に掲げている。

■事業者・団体・個人が一体となった当協議会は、横浜市の基本目標を実現するための一翼を担う組織として、横浜市の施策との連携を図り、家庭及び市内中小企業における「節電・省エネの推進」、「脱温暖化行動の推進」の取り組み実践と参加者の拡大に向けた普及啓発の継続実施を活動の柱とする。また、目標達成のため、横浜市はもとよりヨコハマ・エコ・スクール事業、区役所、市内各大学との連携にも力を入れる。



2 広報

(事務局)

目的	ホームページ等を通して市民に地球温暖化対策の推進に関する活動や情報を迅速に、またわかりやすく伝えと共に、会員の熱意のある取り組みを広く広報します。
内容	①ホームページの更新やニュースレターによる情報伝達 ②会員の熱意ある取組をホームページで公開 ③会員が各プロジェクトや活動に参加できる様に、ホームページ等で参加呼びかけ
期間	通年
予算	200 千円

3 市との協定事業

1 省エネルギー等の広報・PR 活動事業

1) 区民まつり等のイベントでの省エネルギー等の普及

目 的	イベント等における節電・省エネ実践の普及
内 容	① 区役所等の開催する環境イベント等に 18 回程度参加し、節電・省エネ・太陽光発電・車等の二酸化炭素の排出低減の普及を図る。 ② 横浜市・区役所・町内会等と連携して、市民に対する「やります・やっています宣言」シートを約 1000 枚実施する。
場 所	横浜市内各所
対 象	横浜市民
期 間	平成 26 年 7 月～平成 27 年 2 月 18 回程度
予 算	527 千円
募集方法	区民祭り等各種イベント等に参加して実施
協力団体等	区役所、町内会、企業等

2) 風力発電とエネルギー関連施設等の見学会の開催

目 的	風力発電とエネルギー関連施設等をセットで見学し、エネルギーの現状を理解し、参加の市民に家庭での省エネ・節電・及び二酸化炭素削減の学びの場を提供し、実践に結びつける。
内 容	① 風力発電所「ハマウイング」の見学と、エネルギー関連施設等の見学会を 3 回実施 ② バスの中で省エネ講座等を実施する。 ③ やっています・やりますアンケートを実施する。 ④ 広報は横浜市のたより等に掲載する。
場 所	風力発電所とエネルギー関連施設等
対 象	一般市民 3 回合計 165 人（バス 1 台 55 名×3 回）
期 間	平成 26 年 7 月～27 年 2 月 年間 3 回 9 月・11 月・1 月
予 算	460 千円（内横浜市協定事業補助 336）
募集方法	広報やインターネットなどにより募集
協力団体等	横浜市・企業

2・横浜市の地球温暖化対策実行計画等の学習会

目 的	横浜市の取組む環境未来都市や横浜市地球温暖化対策実行計画を広く市民に知らせ、具体的実行を促す。
内 容	各区役所と連携し、各方面で活動する NPO、自治会・町内会等と連携して学習会を実施する。
場 所	区役所、自治会・町内会等
対 象	区役所、各方面で活動する NPO・町内会、各種関係機関等
期 間	平成 26 年 7 月～27 年 2 月 8 回程度
予 算	295 千円
募集方法	広報やインターネット、区役所、NPO、自治会・町内会等
協力団体等	横浜市、区役所、自治会・町内会、NPO 等

3・道志村森林整備普及事業

目 的	平成 22 年度から 3 年間、平成 21 年に開催した横浜開港 150 周年記念イベント時に、ヒルサイド会場への市民の移動使用バスから排出された二酸化炭素「30t」のカーボン・オフセットを、市民の水源地である道志村の民有林の間伐で実施した。継続して道志村及び道志村森林再生協議会と協定書を結び、水源地の森林整備への市民の関心を高め、森林整備、間伐木材の有効活用に関する学びの場を提供する。
内 容	① 横浜市民に呼びかけて、バスで協議会が整備したつながりの森の見学・間伐体験を実施する。一般社団スマートウィメンズ・コミュニティと連携する。 ② 動の際のバス車内で、地球温暖化対策実行計画、省エネルギー、太陽光発電等に関する学びの場を提供し、具体的な取り組みを呼びかける。 ③ 横浜市民と水源地をつなぎ理解を求得る。
場 所	道志村、横浜市内
対 象	1 回 20 名程度
期 間	平成 26 年 7 月～27 年 2 月 10 月～11 月頃 1 回程度
予 算	222 千円（内横浜市協定事業補助 140）
募集方法	市の広報、会員、一般市民
協力団体等	一般社団スマートウィメンズ・コミュニティ、道志村どっきーず

4 プロジェクト活動

1) 中小企業省エネルギー化支援事業 事業者部門

目 的	平成 26 年度も継続して中小企業の省エネルギー化を支援して、二酸化炭素の削減を図る。
内 容	中小企業向けの講演会を開催する。エコアクション取得者の事例報告会を実施する。
場 所	市内全域
対 象	主に会員企業を中心とした市内中小企業
期 間	平成 26 年 7 月～27 年 2 月
予 算	50 千円
協力団体等	関連企業

2) 台所油田プロジェクト

目的	台所で廃棄される廃食油をエネルギーとして再利用する事により、エネルギーの有効活用、二酸化炭素の排出削減、水質汚濁の防止を実践する。
内容	① 会員事業者と連携し、区役所、自治会、町内会等のイベントで廃食油を回収し、エネルギーへのリサイクルを実施し、工場動力及び温室栽培の燃料として活用し、重油等から排出される二酸化炭素の削減を図る。 ② 26 年度は 10 回程度を目標とする。 ③ [役割分担] 協議会：横浜市、区役所、町内会、市民に廃食油の回収を呼びかける。 事業者：回収の実務、再利用化、燃料としての活用を農家、企業に働きかける。
場 所	市内各所
対 象	区役所、町内会、自治会等
期 間	平成 26 年 7 月～27 年 2 月 10 回程度
予 算	50 千円
協力団体等	事業者、区役所、自治会、町内会、地域の拠点等

3) YES節電・省エネ講座

目 的	ヨコハマ・エコ・スクール（YES）の一環として、市民等に呼びかけた省エネ・節電、LCA 等の講座を開催して市民の実践行動を促し、さらに実践活動に参加する市民の育成をはかる。
内 容	基礎講座：市内 3 箇所程度にて、省エネ・節電、LCA 等に関するエコ・スクールを開催する。
場 所	横浜市内
対 象	市民、協議会会員、自治会・町内会、NPO のメンバー等
期 間	平成 26 年 7 月から平成 27 年 2 月 3 回程度
予 算	90 千円
募集方法	広報、区のたより、町内会、団体への呼びかけ
協力団体等	市・区、企業、大学、自治会、町内会、商店街等

4) 会員交流会の開催

会員との交流を年数回実施する。